

平成29年6月14日

報道機関各位

勝山市立荒土小学校
校長 道関 直哉

米の命名と販売戦略を「いちほまれ」に学ぶ
総合的な学習を公開します。

勝山市立荒土小学校は、ふるさと教育を推進し、将来の福井県を担う人材の育成を目標として教育活動を展開しています。

この一環として、5年生は米作りを通してふるさとの良さをPRする方法や課題解決の方法を専門家から直接学び、地域へ提案してく学習に取り組みます。

今回は県の福井米戦略課より講師をまねき、県が開発した新品種「いちほまれ」の命名に込められた思いや決定方法をお聞きすることにより、自分達で育てた米を販売する方法を考える総合的な学習の授業を公開します。授業にあたり児童は福井県NIE教育研究会の作成した新聞ワークシートを使用し、各自が質問をもって講義にのぞみます（立問力を育てるNIE）。

独自のふるさと教育実践として、またNIEの新たな方向性を示す授業として取材いただきますようお知らせいたします。

記

- 1 日時 平成29年6月19日（月） 11:30～12:15（4校時）
- 2 会場 勝山市立荒土小学校 5年教室
- 3 授業者 布目 啓介 教諭
- 4 内容 総合的な学習 「いちほまれ」から米の名前の付け方を学ぼう
- 5 講師 福井県 福井県米戦略課 堂越 浩 氏
- 6 使用教材 NIE 資料 197 授業に生きる新聞記事
命名「いちほまれ」（県NIE教育研究会作成）